

# みどりとともに

第 23 号

2012 年 1 月 1 日

社団法人 茨城県治山林道協会

水戸市三の丸 1 丁目 3 番 2 号

林業会館 3 階



## ◆◆◆◆ も く じ ◆◆◆◆

新年のごあいさつ .....	2
大子町の森林整備について .....	3
白砂青松に思う .....	4
利用間伐の低コスト化に向けた路網整備の推進 .....	5~6
協会だより .....	6~7
関東甲静地区治山林道協会連絡協議会が林野庁へ要望活動 平成23年度 治山・林道関係コンクール審査委員会開催	
協会の主な動き .....	8



## 新年のごあいさつ

(社)茨城県治山林道協会会長 山口伸樹



新年あけましておめでとうございます。

皆様方には、清々しい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、日頃より当協会の運営に際しまして格別のご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、3月11日に発生した東日本大震災をはじめとして、台風12号、15号による豪雨等列島各地で未曾有の災害が多発した年でありました。

森林は、このような災害から県土を保全するとともに、地球温暖化の防止や水源のかん養などをはじめとする様々な公益的機能を発揮し、県民の生活を守る大きな役割を果たしておりますが、これら機能の発揮には適切な森林整備が不可欠となります。

国では平成23年度を森林・林業再生元年として、森

林管理・環境保全直接支払制度の導入をはじめとする森林・林業再生プランの実現に向けた新たな取り組みをスタートさせたところであり、また、県では森林湖沼環境税を導入し、間伐等の森林整備を強力に進めてきておりますが、その基盤となる林道の整備や治山事業を推進することも極めて重要であると考えております。

当協会といたしましても、関係機関と連携して治山・林道事業が円滑かつ効率的に推進できるよう一層の努力をして参る所存でございますので、本年もなお一層のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたりまして、皆様方にとりまして新しい年が希望に満ちた年となりますことをご祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。

## 新年のごあいさつ

茨城県農林水産部長 宮浦浩司



新年明けましておめでとうございます。

平成24年の年頭に当たり謹んで新春のごあいさつを申し上げます。

昨年は、東日本大震災および東京電力福島第一原子力発電所事故により、本県の農林水産業の生産基盤の損壊に加え、放射性物質による出荷制限や風評被害など甚大な被害が発生しました。本年も復興に向けた取組を引き続き進め、本県農林水産業の一層の発展に向けた各種施策を推進してまいります。

まず、震災により被災した治山・林道施設の復旧につきましては、既に約40億円におよぶ工事に着手しており、早期復旧に努めてまいります。

なお、今回の津波被害を教訓に、将来を見据えた津波防災対策として海岸防災林の造成や防潮堤の施設整備が

重要であると認識しております。

森林・林業の再生につきましては、昨年策定いたしました「森林・林業振興計画」に基づき「緑の循環システム」の確立に向けて、林業・木材産業の活性化と機能豊かな森林づくりを推進してまいります。

特に、間伐につきましては、森林湖沼環境税を有効に活用し、計画面積の達成を図るとともに、搬出間伐にも積極的に取り組んでまいります。

また、昨年、宮の郷工業団地に県産材加工の拠点となるラミナ製材工場が完成したことから、間伐材など県産材の一層の利用促進に努めてまいります。

今後とも、震災からの復興、更には全国をリードする元気な農林水産業の実現に向けて努力してまいりますので、皆様方のなお一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。年頭のごあいさつと致します。

町から  
村から

# 大子町の森林整備について

## 大子町農林課

大子町は、日本三名瀑のひとつ「袋田の滝」をはじめとする美しい自然資源とともに、米やリンゴ、お茶、鮎などの豊かな実りに恵まれる山紫水明の地です。

町の総面積 325.78 km<sup>2</sup>のうち約8割は、八溝山系と阿武隈山系からなる山岳地で、八溝山をはじめ高笹山、男体山など県内有数の秀峰を擁しています。この山あいから流れる数多くの源流は、町の中央部を流れる久慈川に注いでいます。

各河川に沿って、狭あいなながらも耕地が開け、人家が集落を形成しています。

年平均の気温は 12 ～ 13℃、年間の平均降水量は 1,400 ～ 1,500 mmと、低温多雨の山岳気候の特色を表しています。

木材の生育に適した環境にあるため、早くから杉・ひのきの人工造林が進められました。民有林の人工林率は、69.3%と県平均より高い率を示しています。

これらの森林の林齢をみると3～9齢級の森林が多く間伐など適正な管理が必要になってきていますが、近年、林業従事者の減少、高齢化などから、手入れが遅れている森林が増えています。



森林機能緊急回復整備事業

〈平成 22 年度 大子町下野宮地内〉

町では、森林湖沼環境税を活用しながら、森林の整備と雇用の場の確保のため「森林機能緊急回復

整備事業」「身近なみどり整備推進事業」等の森林の保全・整備を積極的に行っています。

これまでの間伐等の実績については

### ◇ 森林機能緊急回復整備事業

- ・平成 20 年度 間伐面積 423.79ha
- ・平成 21 年度     "     420.59ha
- ・平成 22 年度     "     408.82ha

### ◇ 身近なみどり整備推進事業

- ・平成 21 年度 整備面積 3.30ha
- ・平成 22 年度     "     4.68ha

を実施しています。



### 身近なみどり整備推進事業

〈平成 22 年度 大子町芦野倉地内

大子西中学校付近〉

これらの事業により本来の森林の持つ公益的機能が発揮されるものと期待しています。

そのような中で、平成 23 年 3 月 11 日に発生した「東日本大震災」や 9 月の「台風 15 号」による山崩れ・洪水等により当町も森林・農地・河川等に大きな被災を受けました。

被災地の復旧工事については、国・県及び茨城県治山林道協会等の協力を得ながら、早期復旧に努めてまいります。

森林ネットワーク



## 白砂青松に思う

(社)茨城県緑化推進機構

3月11日の東日本大震災これに誘発された福島原子力事故、私達がかって見たことも無い地獄絵激甚災害は、東北3県ばかりではない、地震被害は茨城が1番で千葉・埼玉にまで広がっている。

住宅屋根の青いシートの花、生活はしているがほとんど手の着かない一部損壊家屋は無数にある。海岸線は潮害で真っ赤に紅葉する松林、見渡す限り崩壊した堤防、後背地の液状化と公共施設の損壊、残った施設や学校の庭は放射能で使用不能、何とか出来た農作物も風評被害、マスコミが取り上げないから国の災害復興支援にも格差がある。

緑化関係事業もおなじ状況で、中央からの見舞金はおろか中央への上納金の免除も無く、各県からの災害支援も東北3県に絞られている。

ところで日本人は有史以来、海辺の貝や魚、森林の実や獣で生きてきた人間である。有史以来、刻み込まれた心の原風景として白砂青松があり、紫刈りの山があり、小鮎釣りし川があるのである。



湊公園の黒松(巨樹巨木百選)

〈水戸光圈が苗木を須磨明石より取り寄せたもの〉

郷土茨城は万葉の昔から常世の国と呼ばれ、不老不死の薬のある蓬莱山として、中国の始皇帝から派遣された徐福の目標としたユートピアである。

その象徴ともいえる松林が松食い虫の壊滅的な

被害をうけ、何かと残っているのが先人の血と汗の結晶の海岸の松と山奥の痩せた尾根筋の小松である。植生遷移の中間遷移樹種であるとしてもこれを後世に引き継ぐのが私達林業人の義務である。

しかししたたかである、陸前高田に1本残ったど根性の松は有名だが縄文遺跡以前には、松の痕跡がない、八岐大蛇の背中に松が生えていた記述が一番古く、魏志倭人伝の中の日本の樹木の報告にも松はない。しかし日本人の心象に松は、欠かせない。そこで朝鮮からの外来種「松」の説がある。

米の渡来、弥生式農耕法と連動し繁栄している。



那珂県有林に残る赤松

〈瘤に冬 甘い露(甘味)が出る〉

陸前高田の一本松も季節はずれの接ぎ木作戦で4本が活着したとある。海岸レクリエーションには、砂と松は欠かせない。いや日本文化にもである。レクリエーションとは、リ・クリエーション、つまり再創造を意味する言葉である。生物の起源である海と接して心身をリフレッシュする鹿島灘、常磐灘沿岸の松を救いたい。富栄養化を阻止し、手間をかければ痩せ尾根から降りて来て、子供達の甘味料を提供する松瘤木や那珂湊の名松も夢ではないのである。

# 利用間伐の低コスト化に向けた 路網整備の推進

茨城県農林水産部林業課

森林・林業再生プラン(以下「プラン」)は、森林の多面的機能の確保を図りつつ、人工林資源を積極的に活用し、木材の安定供給体制の確立や木材利用を通じた低炭素社会の構築を図ることを目的として、林野庁が策定したものです。

このプランでは、「儲かる林業の実現」や「10年後(平成32年度)の木材自給率50%以上」を目標に掲げ、平成23年度から「適切な森林施業が確実に行われる仕組みの整備」や「低コスト化に向けた路網整備等の加速化」を改革の柱に位置付け、具体的な施策が展開されています。

このような中、本県では、これまで切捨・集積の間伐が中心で利用(搬出)間伐は全体の約3割だったものを、このプランに基づき、平成23年度から国補の間伐事業(計画で約1,500ha)については、利用間伐に限

定するなど、補助の内容を大きく転換して事業を実施しているところです。

間伐材の搬出にあたっては、「いかにコストを抑え収益を山元に還元していくか」が推進のポイントであり、施業の集約化と併せて高性能林業機械による作業システムの普及と計画的な路網の整備が不可欠です。

これに対応するためには、丈夫で壊れにくく簡易な路網が必要(中傾斜地(15°~30°程度)では75m以上/haを目安とする)であり、これまでの林道等に加え、平成23年度から「林業専用道」や「森林作業道」が、次のように新設されるとともに、今後の路網整備の国の予算については、林業専用道と森林作業道に重点化されてきています。

6ページへつづく



## (6) みどりとともに

【路網区分と規格等比較表】

区 分	事業主体	規 格 等
林 道 (従 来)	市 町 村 森林組合	全幅員 4.0・5.0・7.0m ヒトレー等 (設計荷重 25t)
間伐作業道 (従 来)	市 町 村 森林組合等	全幅員 2.0・2.5・3.0m 林内作業車等
林 業 専用道	市 町 村 森林組合	全幅員 3.5m 普通自動車(10t積程度トラック)
森 林 作業道	森林組合等 林業事業体	全幅員 2.5・3.0・3.5m 大型林内作業車等

県といたしましては、森林湖沼環境税活用事業である森林機能緊急回復整備事業において、現在、

市町村や森林組合等の林業事業体に対し、搬出間伐推進のため、間伐作業道の開設 (計画 52,000 m) について支援していますが、間伐作業道の開設だけでは、間伐実施箇所の奥地化や大量の間伐材の効率的な搬出に対応することは、今後難しくなると考えられます。

木材自給率の向上や持続的林業経営を確立する上で、今後益々、利用間伐が間伐の主流になることから、さらに一層の効率化・低コスト化のため、市町村や森林組合等の皆様方には、新たな路網の整備にも積極的に取り組んでいただけますようお願い致します。

## 協会だより

### 1. 関東甲静地区治山林道協会連絡協議会が 林野庁へ要望活動

平成 23 年 6 月 23 日、24 日に静岡県掛川市において、関東甲静地区治山林道協会連絡協議会第 23 回通常総会が開催されました。各都県 (1 都 8 県) 協会からの提案事項について協議し、採択された事項を「平成 24 年度治山事業及び林道事業についての要望書」として取りまとめ 8 月 31 日に林野庁等に各都県代表者が直接要望を行いました。

要望事項は次のとおりです。

#### 【治山事業 要望事項】

1. 治山事業のより一層の推進と予算枠の大幅な拡大
2. 東日本大震災の教訓を活かした新規事業の創設
3. 事業の円滑な実施を可能とするための採択基準の緩和
4. 漁場保全の森づくり事業の平成 24 年度以降の継続

### 5. 民有林直轄治山事業の充実

#### 【林道事業 要望事項】

1. 林道事業のより一層の推進と予算枠の大幅な確保
2. 時代背景に則した新たな補助制度の創設
3. 今後の全体的な路網整備方針、恒久的な制度の確立
4. バイオマス資源の利用促進のために、林道補助金の嵩上げや材の搬出への定額費補助の創設
5. 路網整備の円滑な実施を可能とする採択基準の緩和

#### 【治山・林道事業 共通事項】

1. 国民の生命・財産を守るための水源税の創設
2. 森林土木事業の計画・調査、測量、設計・積算に係る技術ネットワークの構築
3. 治山・林道施設の防災点検事業の創設
4. 各種交付金の集約化

## 2. 治山林道関係コンクール審査委員会開催

平成23年11月24日(木)、水戸市において平成23年度茨城県民有林治山・林道関係コンクール審査委員会を開催しました。

この審査会は、コンクール実施要領に基づいて毎年行っているもので今年度は、会員の市町村に8月30日付けで、林道維持管理コンクール実施の通知を行ったほか、各農林事務所には、9月16日付けで、コンクール対象工事箇所の推薦依頼をしました。

今年度は、治山工事・林道工事・治山木材使用工事・林道木材使用工事・林道維持管理各コンクール併せて17件が対象となりました。

コンクールの対象箇所の現地の状況や工事の完成度の現地確認を行いました。

審査委員会当日は、星林業課長の進行により、現地確認の結果や現地写真等を参考にして、審査委員の協議により順位を決定しました。

審査委員名簿・審査の結果は次の通りです。

### 《審査委員名簿》

#### ◎委員長 ○副委員長

所属課所	職名	氏名
茨城県農林水産部 林業課	課長	◎星 義雄
茨城県農林水産部 林政課	首席検査監	○神長 輝夫
県北農林事務所	林務部門長	楡井 真一
県北農林事務所 林務部門	技佐兼 大子分室長	益子 義明
県央農林事務所	振興・環境室長	佐藤 明彦
鹿行農林事務所	振興・環境室長	河野 茂
県南農林事務所	振興・環境室長	斉藤 英樹
県西農林事務所	振興・環境室長	石井 仁
(社)茨城県 治山林道協会	専務理事	鬼澤 昭和

## 《審査の結果》

### 1. 治山工事

順位	事業名	請負業者	備考
1	予防治山 第2号	(株)椎名工務店 大子町	
2	海岸防災林造成 第3号	(株)田口工務店 大洗町	
3	県単山地治山 第10号 平成21年度繰越分	(株)田口建設工業 鉾田市	
4	海岸防災林造成 第4号	(株)伊東建設 鉾田市	
5	予防治山 第4号	海老根建設(株) 大子町	
6	予防治山 第3号	益子建設(株) 大子町	
7	海岸防災林造成 第5号	(株)朝日工務店 鉾田市	
一	海岸防災林造成 第6号	(株)波崎建設 神栖市	建設業者 知事賞受賞

### 2. 林道工事

順位	事業名	請負業者
1	国補林道開設事業 半田線(Ⅱ工区) 平成21年度繰越分	小桜建設(株) 石岡市
2	奥久慈グリーンライン林道 第2号水根持方線開設工事 平成21年度繰越分	(株)後藤工務店 常陸太田市
3	県単林道開設事業 平野線	(有)酒寄工務店 桜川市
4	県単林道改良舗装事業 鳥曾根線舗装工事	常北開発(株) 高萩市
5	奥久慈グリーンライン林道 第1号水根持方線開設工事 平成21年度繰越分	(株)大藤組 大子町

### 3. 治山・林道木材使用工事【施工部門】

順位	事業名	請負業者	備考
1	保安林改良 第9号	(株)いばらき森林サービス 常陸太田市	治山 工事
2	保安林改良 第7号	茨城県森林組合連合会 常陸大宮市	治山 工事
3	保安林改良 第8号	(株)いばらき森林サービス 常陸太田市	治山 工事

### 4. 林道維持管理

順位	路線名	管理者
1	深山不動下線	常陸大宮市

○ 協会の主な動き ○ 7月～12月

7月4日  
(社)茨城県林業協会第2回幹事会(水戸市)

7月13日～14日  
北関東治山林道協会連絡会議(栃木県)

7月15日  
公益法人制度改革セミナー(水戸市)

7月22日  
公有林野全国協議会 監事会・理事会・  
通常総会(東京都)

8月8日  
(社)日本治山治水協会 理事会・通常総会  
(東京都)

8月20日  
「北浦広葉樹の森」下刈り体験(行方市)

8月22日  
第17回県関係団体役員等懇談会(水戸市)

8月23日  
8月期公益法人定例講座(東京都)

8月31日  
関東甲静地区 平成24年度治山林道事業  
林野庁・中央協会へ要望活動(東京都)

9月7日  
(社)茨城県林業協会第3回幹事会(水戸市)

9月21日  
茨城県農林水産業関係団体連絡会事務局会議  
(水戸市)

10月6日  
全国治山林道協会会長会議(北海道)

10月12日～14日  
役員現地研修会(北海道)

10月18日  
茨城県農林水産業関係団体連絡会県選出国会  
議員との懇談会(東京都)

10月22日  
グリーンフェスティバル2011(水戸市)

11月2日  
インテリアリビングライフスタイル見本市(東京都)

11月9日  
雇用管理先進事例見学会(群馬県)

11月11日  
平成23年度 茨城県表彰式(水戸市)

11月15日  
日本林道協会 通常総会(東京都)

11月24日  
茨城県民有林治山・林道関係コンクール  
審査委員会(水戸市)

11月28日  
(社)茨城県林業協会第4回幹事会(水戸市)

11月30日  
第2回 役員会(水戸市)

12月2日  
橋本県知事と林業関係団体長との懇談会  
(水戸市)

12月7日  
茨城県農林水産業関係団体連絡会事務局会議  
(水戸市)

12月22日  
ラミナ製材施設竣工祝賀会(常陸大宮市)

今後の予定

1月11日  
明日の茨城づくり新春の集い

1月23日  
平成24年林業団体合同新年の集い

1月25日  
日本林業再生における森林土木等に  
関する研究会

1月26日  
全国治山林道協会会長会議・民有林振興会  
セミナー・総会

2月14日～15日  
治山林道コンサル技術研究会

「みどりとともに」

(年2回 発行)

社団法人 茨城県治山林道協会

編集・発行 山口 伸樹

水戸市三の丸1丁目3番2号  
林業会館3階

TEL 029-225-7280

FAX 029-225-7582

<http://business2.plala.or.jp/iba-crk>

e-mail:chisan@atlas.plala.or.jp

表紙の写真:

「つつじヶ丘より男体山を望む」

(大子町北富田)

佐藤征男氏撮影